

東高 国際だより

平成30年9月10日
京都府立東舞鶴高等学校
国際教育部発行

2018 vol. 5

「府立高校グローバルチャレンジ500 海外研修」報告 2年4組 井本 亜由さん（白糸中学校出身） イギリス エディンバラ市

- どのような研修でしたか。
7月21日～8月16日の27日間、イギリスのエディンバラ市で二人一組のホームステイをしながら、語学学校に通いました。ゲームを用いて楽しく英語を勉強する授業が多かったです。月・水以外の午後は戸外活動があり、エディンバラの観光地をクラスメートと回ったりしました。
- なぜ留学をしようと思いましたか。
イギリスはアフタヌーンティーが有名なので、一度本場で体験してみたいと思ったからです。
- 一番印象に残ったことは何ですか。
エディンバラ城の広場で毎年8月にある夏の一大イベント「ミリタリー・タトゥー」です。伝統衣装を着た世界各地の音楽隊のパレードや華やかなショーが展開され、幻想的でした。
- 今後頑張りたいこと、東高生に伝えたいことは何ですか。
今後はAETの先生に積極的に話しかけて、コミュニケーションの力を付けたいです。留学はとても貴重な体験になるので、自分が行きたい国を選び応募することをお勧めします。



2年5組 沓澤 瞳さん（白糸中学校出身） オーストラリア アデレード市

- どのような研修でしたか。
7月28日～8月13日の約2週間、南オーストラリアのアデレード市で、パキスタン出身の家庭にホームステイをしながら、地元のUnley High Schoolで英語の学習をしました。
- なぜ留学をしようと思いましたか。
自分と違う環境で生活をしている同世代の人達とコミュニケーションをすることによって、たくさんの刺激を受け、物事の見方が変わったと思ったから。また、他の理由として、自立につながったこと、英語が好きでもっと話したいという意志が強くなったことが挙げられます。
- 一番印象に残ったことは何ですか。
オーストラリアの人がとても親切だったこと。ホストファミリーがパキスタン出身なので、オーストラリアとパキスタンの文化を楽しめたこと。buddy(パディー)と昼食を食べたこと。(buddyは本来友人という意味ですが、ここでは学校生活のお手伝いをしてくれる同年代の人のことです。)
- 今後頑張りたいこと、東高生に伝えたいことは何ですか。
研修を通じて自分の英語が伝わったときの喜びを感じたので、もっと英語が話せるようにESSを利用して話す力を伸ばしたいです。留学に少しでも興味がある人は勇気を出して参加してみてください!!



☆夢チャレンジ留学支援事業

英語圏での海外留学にチャレンジする府立高校生に留学に要する経費の一部を補助します。

各自で留学の計画をする必要があります。提出書類の準備もあるので、できるだけ早い目に申し込みをしてください。

- 募集人数 10人程度(応募要件の審査あり)
- 応募要件 経済的に困難と認められる場合
- 対象となる留学(次の要件を全て満たすこと)
 - ・平成31年1月31日までに帰国すること
 - ・2週間～6週間程度の短期留学
 - ・英語を公用語とする国または地域で、週15時間以上の語学学習を2週間以上実施
- 補助の対象とする経費の合計と40万円とを比較して、いずれか少ない方を補助

☆ 受付期間

校内書類提出期限 9月21日(金)最終締切

☆夏の体験セミナー 英語体験授業

8月3日(金)に中学生体験セミナーが実施され、たくさんの中学生在英語の体験授業に参加してくれました。本校のAET2名と英語の先生1名とで「Chants(チャンツ)」の練習をしたり、「アナと雪の女王」の英語の台詞を読んだりして楽しみました。

Chantsは、単語や文をリズムに乗せて言うことで、英語独特の強弱のある発音を習得する方法です。ちょっとラップのような感じがするかもしれませんがね。

3年4組上米良れもんさん(白糸中出身) 平成30年度英検準1級合格!

準1級は大学中級程度とされ、「実際に使える英語力」の証明として高く評価されています。上米良さんは2年次に短期留学にもチャレンジし、今回高校生では難関の級にみごと合格しました。おめでとうございます!

東高先生の Another Sky 4回目 ヴェロニカ・キング先生(英語科)

Hello, my name is Veronica King. I am from Charleston, South Carolina in the U.S.A. I am an English teacher at Higashimaizuru Senior High School. In the past, I have taught at Elementary Schools in America. I also taught English to Elementary students in South Korea. I would like to share my teaching abroad experience in South Korea and compare it to teaching in America.

In the US learning is considered to be a long process of development. There is no strong push for studying around the clock, at least not until high school and University. The focus of early childhood education is learning through play, and it's important to make mistakes and learn from them. In Korea studying is pushed from an early age and learning through play is simply not considered learning. I'd say the push for education becomes very evident to the students by second or third grade.

In the US, my students had so much confidence. In Korea, kids are generally more stressed out. I notice it in their body language; their shoulders are slouched instead of straight, and their gaze is fixed to the ground.

My goal is to reduce or eliminate the stress associated with learning another language. I would hope that students walk away from my class more confident than when they arrived, and with a genuine love for English.

(日本語大意) こんにちは、ヴェロニカ・キングです。アメリカのサウスカロライナ出身のAETです。以前、アメリカと韓国の小学校で英語を教えたことがあり、私はその違いをこう感じました。

アメリカでは学習は長い発達過程だと捉えられています。ゆえに少なくとも高校や大学まではずっと勉強を強いることはありません。早期の子どもの教育は遊びを通して学ぶことに焦点が置かれ、間違いから物事を学ぶことが大切だとされています。一方、韓国では、勉強が幼い頃から強いられ、遊びを通しての学習は学習だとは見なされません。そういう圧力は小学校2、3年までの生徒にとって明白です。

アメリカの子どもはとても自信を持っており、韓国の子どもは一般的に緊張しています。彼らの動作にもそれを感じました。肩が前屈みになり、視線は地面に留まっている感じです。私の目標は他言語を学ぶ際のストレスを減らしたり除いたりすることです。生徒が私の授業で自信を持ち、英語が好きになってほしいのです。



毎週金曜日に校門で暗誦文を言えたらシールを貼ります。本校のStamp Book みたいですね。

「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

